

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 振興課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	07ポートマーケティング機能を強化する		連絡先	052-654-7835	
事務事業名	11国内ポートマーケティング・ポートセールスの活用				

1 PLAN(目的・概要)

目的	有益な情報を収集し、効果的なビジネスチャンスを得ることにより、名古屋港の貿易拡大を図ります。	事業期間	昭和58年度～継続
概要	企業訪問、名古屋港説明会、名古屋港利用者懇談会等を開催し、各企業の貿易情報、利用港の把握をするとともに、名古屋港のセールスを行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	・平成21年度については、石川・福井県と岐阜県を対象に企業訪問、名古屋港説明会を開催、また実際に名古屋港を利用している企業を対象に名古屋港利用者懇談会等を実施しました。 ・平成22年度については、長野県と滋賀県を対象に企業訪問、名古屋港説明会を開催予定、また昨年同様に名古屋港利用者懇談会を実施予定しています。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
企業訪問、説明会、懇談会の合計開催回数	単位	目標	-	-	-	3	3	平成21年度末に3つの事務事業が統合となったため、指標を見直しました。
	回	実績	-	-	3			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円	2,858	2,881	5,788	6,182			本事業は名古屋港利用促進協議会事業ですが、この内、説明会と懇談会は名古屋商工会議所・名古屋港振興協会との共同開催で支出負担を受けているため、これらの負担分を除いた利用促進協議会の負担分に、利促総事業費における本組合の負担割合(平成21年度は53.4%)をかけたものを、本組合の事業費として算出しました。事業統合により事業費、人件費も統合されています。
人員 正規職員	人	3.17	3.17	3.17	3.17			
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	27,531	27,801	27,205	27,826			
事業費・人件費の合計	千円	30,389	30,682	32,993	34,008			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
企業訪問数、説明会参加企業数、懇談会参加者数の合計	単位	目標	-	-	-	440	440	平成21年度末に3つの事務事業が統合となったため、指標を見直しました。	
		実績	-	-	577				
	達成率(%)								
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・国内ポートセールスは名古屋港利用促進協議会の事業として行われていますが、本組合の利用促進協議会全体の事業費における負担割合は5割を超えており、今後も資金面、人的面での関与が必要です。						※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 1-01-07-04企業訪問の推進 1-01-07-05名古屋港説明会の開催 1-01-07-06名古屋港利用者懇談会の開催
	目的・水準の妥当性	有・(無)							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)							
	成果の達成度	有・(無)	・開催事業への企業の参加は大幅に増加しています。						
効率性	内容の妥当性	有・(無)							
	実施主体の妥当性	有・(無)	・名古屋港利用促進協議会で実施することによって、ポートセールス事業費を本組合以外の所在市町村や会員企業で幅広く負担することができ、また受益者負担の面からも、現在の実施主体が望ましいと考えます。						
	受益者負担の適正性	有・(無)							
	経済性	有・(無)							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大		○	中部圏荷主に、より名古屋港の利用を働きかけていく必要があるため。
		維持			
		縮小			
			縮小	維持	拡大
				コスト	
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	今後は、地元港湾事業者等の協力を得ながら、セールス相手である荷主に対してより具体的な提案がおこなえるポートセールスのあり方を検討します。				